



特集 富士山の日



2月23日(日)は富士山の日です。静岡県では、県民が富士山について学び、考え、想いを寄せ、富士山憲章の理念に基づき、後世に引き継ぐことを期する日として、平成21年に条例で制定されました。

平成25年6月、富士山は「富士山―信仰の対象と芸術の源泉―」の名称のもと、関連施設と共に世界文化遺産に登録されました。富士山の日に関連し、市内でもイベントが企画されています。身近なところから富士山を学び、訪ねてみませんか。

富士山を学ぶなら 富士山資料館

☎ 998-1325



富士山資料館は、富士山と郷土の自然・歴史・文化・人々の暮らしなどを幅広く紹介することを目的として、昭和53年に開館しました。富士山の成り立ちや富士山に関する情報が、コーナーごとに分かりやすく展示されています。また、江戸時代後期から昭和初期までの生活に使用された民具や道具などの展示もあり、当時の暮らしを伺い知ることができます。富士山資料館では、年間を通じ企画展や特別展、各種講座などが開催され、富士山学習の場として親しまれています。

開催時間▶ 9時～16時30分

入館料▶ 大人210円、子ども（小・中学生）100円



休館日▶ 毎週月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日（土・日曜日の場合は開館）、年末年始

富士山資料館「富士山の日」関連イベント

富士山資料館
998-1325



富士山資料館入館無料

富士山の日(2月23日(日))は入館料が無料になります。

時 2月23日(日) 9時～16時30分

絵手紙体験講座

富士山や植物を題材にした絵手紙を作ります。あなただけのオリジナルの絵手紙を作ってみませんか。事前の申し込みは不要で、時間内の参加は自由です。

時 2月23日(日) 10時～15時

講 渡邊 節代さん(県環境学習指導員)



富士山世界文化遺産裾野市民協議会



富士山世界文化遺産裾野市民協議会では、市内の芸術・文化団体などの協力を得て、世界遺産である富士山の魅力を伝えるべく、富士山の日関連事業として芸術展と記念講演会を開催しています。

第8回富士山芸術展

市内の芸術・文化団体などが富士山を題材に表現した絵画、写真、陶芸、短歌、俳句などの作品を展示します。

時 2月12日(水)～24日(月) 9時～17時

※初日は13時から、最終日は15時まで

所 生涯学習センター展示コーナー

☎ 生涯学習課 994-0145

「富士山の日」記念講演会

富士山かぐや姫ミュージアム(富士市)館長の木ノ内義昭さんが、リニューアルで来場者数が激増した富士山かぐや姫ミュージアムの手法と、富士山に伝わるかぐや姫伝説について話します。入場は無料です。

時 2月19日(水) 19時～ ※開場▶18時30分

所 生涯学習センター学習ホール

題 富士山信仰とかぐや姫

☎ 生涯学習課 994-0145



ふじかぐちゃん



木ノ内 義昭さん

世界文化遺産を訪ねてみよう 須山浅間神社

須山722番地
080-1617-1865



須山浅間神社は、世界文化遺産「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉ー」の構成資産の1つとなっています。富士山須山口登山道の起点となる神社であり、須山口から山頂を目指す登山者がこの神社で身を清め、安全を祈願しました。富士山資料館には浅間神社の棟札2枚が保管されていて、少なくとも大永4年（1524



年）には存在していたことが分かります。その後、宝永の噴火が発生し、須山口登山道や周辺で暮らす人々に大きな影響が出ました。その中でも、浅間神社は富士山信仰の中心として、地元の人々によって大切に守られてきました。

境内には、樹齢約500年のスギの巨木が約20本あります。中には目通りの太さが周囲7～8mほどのものもあり、静かで厳粛な雰囲気と共に浅間神社の長い

歴史を感じさせます。

鳥居をくぐり階段を上ると、ハート型に見える小窓がある石灯籠があります。



この小窓の形は「猪目（いのめ）」といい、日本に古くから伝わる模様の一つです。1707年の宝永の噴火から35年後に設置されたものとのことです。

浅間神社の祭神である木花咲耶姫命は火の神として有名ですが、女性の守護、または安産の神、縁結びの神としても知られています。

休日の10時から15時ごろまでは社務所が開いていることが多く、御朱印や御神木を使用した神札などをお求めになれます。

